

# 天台宗 別格本山 一宝積山 光前寺

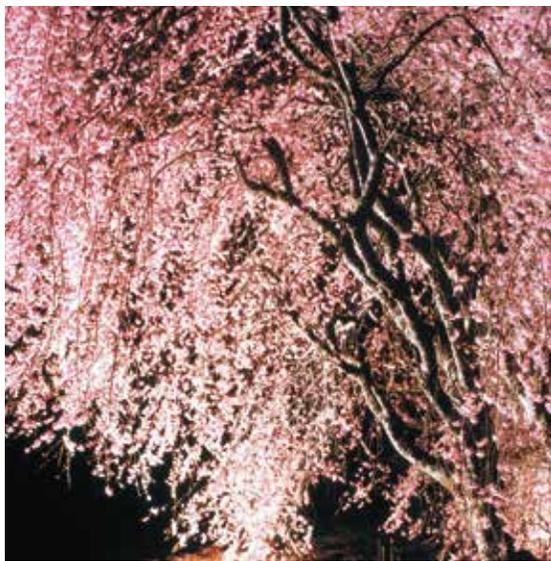
天台宗 別格本山

## 霊犬早太郎伝説としだれ桜の寺



### 名勝庭園

本堂の前庭と本坊客殿奥の庭園、仁王門から参道を経て三門本堂へと続く直線上の伽藍配置、および、それをとりまく境内林など境内全域約6.7ヘクタールが、光前寺庭園として文化財保護法による国の名勝に指定され、静寂な環境と風致は、長野県下随一と称せられています。(昭和42年5月10日付指定)



### しだれ桜

開花期間中は、ライトアップされます。

#### 〈交通のご案内〉

中央自動車道駒ヶ根ICより、西方1.2km  
JR飯田線・駒ヶ根駅下車、西方4km

光前寺 〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂29番地  
TEL.0265-83-2736 FAX.0265-83-4800

<http://www.kozenji.or.jp>

## 伝説 霊犬早太郎



光前寺には昔より霊犬早太郎の伝説が伝えられています。今よりおよそ七百年程前、光前寺に早太郎という大変強い山犬が飼われていました。その頃遠州府中(静岡県磐田市)見付天神社では、毎年祭りの夜に人の子女を神前に人身御供として供える悲

しい習わしが続けられていました。これを救おうと社僧(実坊)は、神仏に祈願して祭りの様子をさぐり、子女をさらう怪物が信州の早太郎を恐れていることを知りました。信州に尋ね入った弁存は、光前寺に早太郎をさがし当て、早太郎を借り、子女の身代わりとならした早太郎の力によつて怪物(老ヒヒ)は退治され、村の災難は除かれたのです。一実坊弁存はこの報恩のために大般若経を書きし天神社から光前寺に奉納されました。以来、早太郎こそまさに不動明王の化身であり、災難除、厄除の霊犬なりとして広く信仰をあつめ、今なお見付より報恩の参拜が続けられています。

災難除け 霊犬早太郎お守り 霊犬早太郎おみくじ



光ごけ:光前寺には昔より「光ごけ」が自生しています。参道の石垣の石の間、本坊客殿奥の庭園に面した外縁の床下などに、光線に反射して美しく、神秘的な光を放っています。(4月中旬~11月上旬)



天台宗宝積山光前寺は、不動明王を御本尊として貞観二年(八六〇)本聖上人により開基されました。以来千百年の長い歳月の間には、幾多の火災等により古記録を焼失しましたが、古くは武田・羽柴家等の武将の保護を受け、特に徳川家からは地方寺院としては破格の六十石の寺領と十萬石の大名格を与えられるなど隆盛をきわめました。明治以降は多くの末寺等も廃寺となりましたが、今なお樹齢数百年の杉の巨木に囲まれた境内には、十余棟の堂塔を備え、長野県下屈指の大寺であり、南信州随一の祈願霊場として広い信仰をあつめています。